

広報



昭和48年12月1日

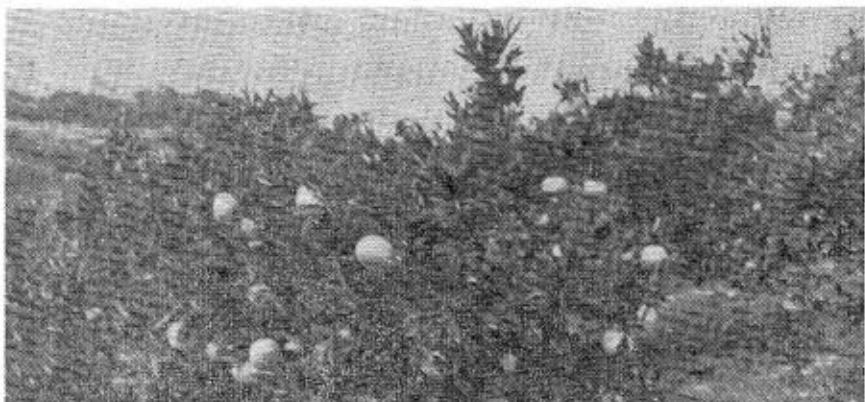
No. 119

あいあ

人口と世帯数

(11月1日現在)

人 口	9469 人
男	4493 人
女	4976 人
世 帯 数	2425世帯



「とじこんで保存しましょう」

ミカンの収穫風景 金山令地区で

ミカン収穫
いまが盛り!!

昭和三十六年度に構造改善事業の指定をうけて、秋穂町にも十三地区のみかん園地が造成され、延べ百七十三ヘクタールに作付されており、それぞれ順調な成育をつづけています。昨年の大豊作につづき、今年も平年作以上のできで、総収量千八百トン、集荷総量千三百トンが見込まれ、山口みかんとして各地へ出荷されています。どの木も美しい実りの季節を迎へ、いまが収穫の盛りです。

今月の主な記事

ミカン収穫いまが盛り	1
守ろう人権	2
老令特別給付金	2
造林をしましょう	3
国民年金だより	3
12月保健衛生事業	4
公害セミナー	4
安全運転法を自分のものに	5
交通災害共済見舞金	5
遺族援護法改正	6
お知らせコーナー	6
納税コーナー	7
松くい虫	7
おかあさんのページ	8
郷土小史	8

あなたも私も守ろう人権

12月4日～10日
第25回人権週間



人権相談

みなさん十二月四日から十日までの「人権週間」として全国的にいろいろな行事が催されています。そこで「人権」とは何かについて簡単にお話してみたいと思います。

「人権とはどのようなことを言うのでしょうか。かの有名な福沢諭吉先生は「天は人の上に人をつくらず人の下に人をつくらす」と言わされました。がこの短かい言葉の中に「人権」の真の意義が言い表わされていると思いません。人間として生れてきた以上誰でも平等に人間として尊重されなければならぬとするのが基本的な人権尊重の精神であります。この基本的人権は人間が生れながらにして誰でも等しくもっている権利であります。

ですから私達は日常生活において自分の人権を守るとともに他人の人権も尊重しなければなりません。皆さんの中にはたとえば公務員から不當な取扱いをうけたり他人からあらぬ噂をまきちらされたりいやがらせをされたり平穏な生活を脅やかされたりそのほか老人に対する冷遇や嫁いびり病人や子供に対する虐待、悪臭騒音などによる公害偏見による差別などによってお困りになつてている方はあります。権擁護委員と協力してその教済のためにあらゆる努力をしておりまのでお申し出ください。またこのほか

・○・○・○・○

あなたがれば人権擁護委員に相談しましょう。また

老令特別給付金の制度ができました

この度の国民年金法の改正によって次に該当される方々には老令特別給付金が支給されることになります。

◎但し受給について要件は老令福祉年金受給と同じです。

た。この方々は昭和三十五年国民年金法が発足した當時国民年金に加入することが出来なかつた人々で俗に言う（谷間の老人）に該当される方々です。

一、受給対象者

明治三十九年四月一日以前に生まれた日本国民で老令福祉年金の受給権者でない者

二、支給開始

昭和四十九年一月二日以後（但し実支給は五月）

三、給付金額

四万八千円（月額四千円）

困ったことがあるときはすぐ行こう
人権相談へ!!

秋穂町にも
人権擁護委員が
おります。



婦もあるとか、毎日の生活に欠かせない品だけに無関心でいるわけにいきません。そこで、本当の意味の「豊かさとは何か」。物を大切に、物の生命を活かす暮らしを、いまこそ一人、

ムダにしていませんか？

さきに、山口県消費生活センターで「浪费の反省」というテーマで、消費生活展が開かれました。が、みなさん、ご覧になりましたか。

わたくしたちのまわりには案外日々を粗末にしたりムダにしていることが多いことを考えさせられます。今や石油、水など資源の不足は深刻な問題です。紙不足が報じられるやいなや、一ヶ月のトイレットペーパーを買いためた主婦もあるとか、毎日の生活に欠かせない品だけに無関心でいるわけにいきません。そこで、本当の意味の「豊かさとは何か」。物を大切に、物の生命を活かす暮らしを、いまこそ一人、



さきに、山口県消費生活

料不足のあたりで値上がりは必上、この灯油をムダなく使い、快適な暖房のために室内暖房にどんどん使われています。しかし灯油も原材料不足のあたりで値上がりは

人が考えようではありませんか。

くらしと生活

あかあさん のページ

灯油はほかの燃料より安く暖かいうえに、火をつけたり消したりが簡単なので室内暖房にどんどん使われています。しかし灯油も原材料不足のあたりで値上がりは

手足だけとくに暖めたり、短い時間だけの暖房にむきます。洋間には、対流型を使います。部屋中の空気を全体に暖めます。部屋の中の空気を



大内氏全盛の頃、秋穂は山口への海の玄関口として重要なものになりました。足利将軍より大内氏への使者が山口に入るも、或は豊後、山口間の上使の往来するものが、秋穂屋戸あたりの海岸から丸山をぬけて、善城寺前から長徳寺前通り、幸田、仁光寺、梅の木峠を越え、糸根岬から平井へ、そこから櫛野川を渡って山口に入りました。

この渡し場を「秋穂渡」といい、現在も広瀬橋のたもとに石碑があり、「右あいをみち古橋主当村浄会奉納大乗妙典日本回國橋願主予州松山桑村郡安田村善左衛門」と刻まれています。

各地の開発が進んでいる中で昔の上使道の姿を遺すのが、丸山の「切貫」です。

郷土小史 (3) お上使道と「切貫」

香などの海辺に船をつけて上陸し、山口へ通路相成候由その道筋を土地の人ども書かれています。

このお上使道の起点になる屋戸あたりに、昔の道標「一里塚」があったと「地内海があつたが、「藤尾の口」が狭く、汐の流れが強くて小郡川筋へ船をつけることができなかつたので、この秋穂浦が海の玄関口になつたのです。

このお上使道の起点になります。

ここから次の「一里塚」が「大

海峯」とか「却田村（幸田）」にあつたことも同書に記されています。

屋戸にある八坂神社のお旅所は昔の貴船社屋敷です

が、この上に大きな重ね岩があり、恐らくこの附近が

船付き場であつたことでしょう。（社会教育指導員田中義記）

○ 部屋のちがいや、生活のしかたで、石油ストーブの機種を選ぶことも大切です。和室には反射型のストーブを使いましょう。

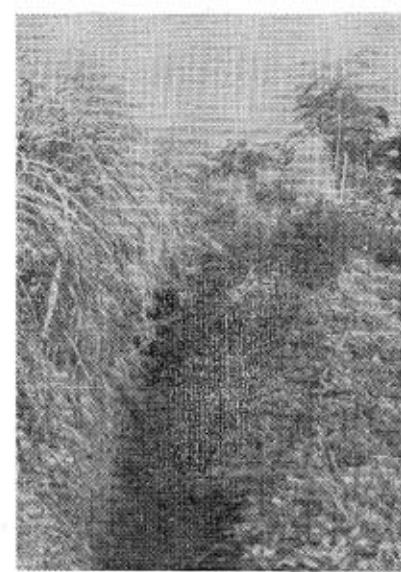
○ 石油ストーブは、ガスのように火力の調整ができるません。（ボト式は別）

○ 部屋の温度は、寒い季節だからといって、むやみに暖かくしてもムダです。

○ 頭はカッカッ足元ぞくぞくしてはいませんか？

○ サーキュレーターは、お部屋の空気を上下にじゅんかんさせます。天井と床の温度をできるだけ同じようにすることは、洋間なら八畳、和室なら六畳ということです。

○ 部屋のちがいや、生活のしかたで、石油ストーブの機種を選ぶことも大切です。和室には反射型のスト



善城寺の南西小高い丸山の一部を切り貰った部分です

長い年月の間、細竹や草藪が霜くづれを喰いとめてい

て、今ではこの附近の畠を耕す人たちが僅かに利用さ

れる細道で、貴重な遺跡です。

（防長風土注進案）によりますと「秋穂屋戸、花いた」ということです。